

第9回 下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた検討会 議 事 概 要

日 時 : 平成 29 年 3 月 13 日(月) 15:00~17:00
場 所 : 公益社団法人日本下水道協会 5 階 会議室 1~3
出席団体 : 配布座席表ご参照
資 料 : 配布資料ご参照 (資料 1~7)

議事

1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者紹介
4. 議題
 - (1) 下水道分野における PPP/PFI を含む政府の最新動向
 - (2) 新規参加都市の紹介 (周南市・大分市・赤磐市)
 - (3) モデル都市の説明 (宇部市・小松市)
 - (4) 民間提案実施事業者による講演 (積水化学工業)
 - (5) その他
5. 閉会

【主な意見】

<モデル都市の説明(宇部市・小松市)>

○改築工事を含む管路事業については、地場企業を育成するという観点から、処理場の委託とは分けて発注することも考えられる。

<民間提案実施事業者による講演(積水化学工業株式会社)>

○今後、管路の包括的民間委託等が全国的に普及する場合、民間事業者側の人員体制が不足することが考えられる。需要と供給のバランスで、業務が増加し、適切な利益が確保されるのであれば、参画しようとする民間事業者も増えていくのではないかと。

○管路に係る業務は、緊急的対応もあるので、地理的条件も含め地元企業が業務を担ってもらえるとよい。

○管路における PPP/PFI については、資産状況の把握だけではリスク評価は難しく、その状態についての調査業務等を事前に発注することが望ましい。

<その他>

○管路事業において、現状予防保全的な維持管理をしている事例は多くなく、予防保全的な維持管理を導入すれば、新たな支出が生じることになるが、費用を検討する上では、直営で実施した場合と民間に委託した場合で検討を行う必要がある。